

再評価結果(平成19年度事業継続箇所)

担当課: 道路局国道・防災課
担当課長名: 木村 昌司

事業名 一般国道258号 大桑道路	事業区分 一般二次	事業主体 国土交通省 中部地方整備局
起終点 自: 岐阜県大垣市楽田町 至: 三重県桑名市大字小貝須字柳原	延長 41.6km	
事業概要 一般国道258号は、岐阜県大垣市を起点として三重県桑名市に至る延長約42kmの主要幹線道路であり、岐阜県西濃地域と三重県北勢地域を結ぶ重要な南北交通ネットワークです。大桑道路は、岐阜県西濃地域～三重県北勢地域間における円滑な交通の確保及び地域開発支援を目的としており、昭和49年度には事業区間の全線暫定2車線を供用し、現在は順次4車線化整備を実施しています。		
S40年度事業化	S43年度都市計画決定 (平成8年度一部変更)	S40年度用地着手
S40年度工事着手	全体事業費 約290億円	
計画交通量 25,200台/日	事業進捗率 約82%	供用済延長 41.6km
費用対効果 分析結果	総費用 (残事業/事業全体) 118/896 億円 (事業費: 54/446 億円 維持管理費: 64/450 億円)	総便益 (残事業/事業全体) 277/2,476 億円 (走行時間短縮便益: 224/2245 億円 走行費用減少便益: 34/ 180 億円 交通事故減少便益: 19/ 51 億円)
事業の効果等 ・渋滞の解消(現道における年間渋滞損失時間の削減) 他10項目に該当。		
関係する地方公共団体等の意見 大桑道路は、岐阜県西濃地域と三重県北勢地域を結ぶ幹線道路として十分な機能を果たすことが期待されており、養老町及び地元商工会で構成される西濃地区商工団体連合協議会より早期整備の要望(養老町:平成18年9月20日、連合協議会:平成18年9月20日)を受けている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・暫定2車線供用区間の交通容量不足により慢性的な混雑が発生(混雑度1.75) ・四日市港や名古屋港の関連輸送が増加し、アクセス性の向上が必要 ・通勤通学や医療など拠点都市(大垣市・桑名市)への依存が高い ・沿線に大規模観光施設や企業・工業団地が多数立地し、ネットワークの強化が必要		
事業の進捗状況、残事業の内容等 ・大桑道路L=41.6kmの全線において供用。(完成22.4km、暫定19.2km) ・事業進捗率は約82%、用地取得率は96%(平成18年度末見込み)。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ・主要な交差点から逐次4車線化を推進。		
施設の構造や工法の変更等 ・橋梁・擁壁の構造形式の見直しにより、約2.7億円のコスト縮減。 ・当計画は完成区間も含めて全線暫定2車線供用されている区間の4車線拡幅事業であることから、計画の変更は困難。		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 以上の点を勘案し、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないものと考えられる。		
事業概要図		
凡例		
	供用中	
	事業中	
	再評価箇所	

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。